

小規模多機能型居宅介護 サービス評価

◆小規模多機能型居宅介護「サービス評価」
総括表

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 佐々木・斉藤・伊藤・宮下・高橋・上原
佐藤・大殿・渡辺

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	5人	3人			8人

前回の改善計画

新規利用者様には1日も早く馴染んで頂ける様に、笑顔で対応し声かけや困り事の調整を行う。基本情報の確認を行い違っている点や改善点を見つけてより良い介護が提供できるよう、管理日誌や連絡ノートを活用してスタッフ間で共有する。

前回の改善計画に対する取組み結果

新規利用者様には笑顔で明るく接するように心がけ、利用者様が意思表示をしやすい環境になっている。基本情報を確認し、ミーティングでは情報交換を行い問題点を見つけて対策を立て実行することができた。ただ管理日誌や連絡ノートを活用しているが情報共有ができていないこともあった

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	5	4			9
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	2	5	2		9
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	5	3	1		9
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	2	6	1		9

できている点

200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

朝のミーティング等で利用者様の情報やニーズを共有し、取り組んでいただけそうなワークや日常生活行為等を考えながら新しい環境になじんでいただけるように対応している。ご家族の思いや不安、心配事等、送迎の際にも声をかけ、介護のアドバイスや施設での様子を伝えて安心していただいている

できていない点

200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

新規利用者様には特に気を配り声かけを多くするように心掛けているが、日によっては他利用者様への対応等で「少しお待ち下さい」が多くなる時があり、利用者様の声にすぐに対応できないことがあった。また情報共有の面では細かい注意点などなかなか話し合う時間がとれなかった

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

新規利用者様には一日も早く馴染んでいただけるよう、笑顔で対応、声かけや困り事の調整を行うとともに、認知面での問題行動や夜間の対応等、早期に安全で統一した対応ができるように対策を立てて箇条書きにして全員で共有する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年11月28日 (18:00~19:00)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 佐々木・斉藤・伊藤・宮下・高橋
上原・佐藤・大殿・渡辺

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2	3	3		8

前回の改善計画	一人一人の利用者様に寄り添い、「～したい」の気持ちを引き出して介護計画を作成し、目標を目指した日々の関りができる。利用者様の「～したい」をわかりやすく一覧表にして職員が把握しやすくする
前回の改善計画に対する取組み結果	介護計画を基に日々の関わりをしているが利用者様ひとりひとりの「～したい」をなかなか引き出すことはできなかった

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	1	8			9
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	2	7			9
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	1	7	1		9
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	3	6			9

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 利用者様の目標を記入した一覧表を見ながら記録を書いている。「～したい」を目指した日々の関わりをするようにしている。担当している利用者様の目標について「～したい」をできるだけ把握し引き出せるように努力している。またそれを他の職員にミーティングで発信している。利用者様との会話の中でこれまでやってきたことまたはできていたこと、今現在できなくなってきたけどこれだけは続けたいと言われたこと等から「～したい」を把握して介護計画に取り入れ実現できるよう日々関わっている
--------	---

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 介護量の多い利用者様が多い時、他の利用者様に目を向けることが少なくなり、なかなか利用者様一人ひとりの「～したい」を目指した関わりができていない。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) ・一人一人の利用者様に寄り添い、担当の職員がそれぞれ中心になって「～したい」の気持ちを引き出してミーティングで再確認し、本人の目標「～したい」を目指した日々の関わりができるよう、一覧表にして職員間で共有する。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年11月28日 (18:00~19:00)

3. 日常生活の支援

メンバー 佐々木・斉藤・伊藤・宮下・高橋
上原・佐藤・大殿・渡辺

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	4	4			8

前回の改善計画	利用者様の心身の状態や変化の他、ご家族の体調や家庭環境の変化等も把握して、早めに対策を考えてミーティングや連絡ノートを利用して情報を共有し、適切な生活支援が継続して行える。
前回の改善計画に対する取組み結果	利用者様の心身の状態や変化等を朝のミーティングや管理日誌、連絡ノート等で把握し、対策を早めに行うことができた。また送迎の際、利用者様やご家族の様子を把握し、問題となることへの対策をたてて情報を交換し支援している。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	2	3	3	1	9
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	4	5			9
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	1	8			9
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	5	4			9
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	2	5	1		8

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
送迎をすることで利用者様やご家族の思い、生活環境の変化等よく理解できるようになった。利用者様の状況に合わせて食事の形態を工夫する等の対応ができていた	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
自宅での生活環境を理解しているとはいえない。「以前の暮らし方」や経歴をフェイスシートやミーティング等では把握するようにしているが10個以上把握できていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
利用者様やご家族の心身の状態や環境の変化など、連絡ノートやケアマネ、送迎スタッフ等から情報を得てカンファレンスで共有し、早期に適切な生活支援を継続して行う	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年11月28日 (18:00~19:00)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 佐々木・斉藤・伊藤・宮下・高橋
上原・佐藤・大殿・渡辺

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1	5	1	1	8

前回の改善計画
 コロナ禍であってもご家族と連絡を取り合い、良い関係が継続できるように支援する。必要があれば地域の資源等の活用を検討する。

前回の改善計画に対する取組み結果
 ご家族とは送迎時にお話しさせていただいたり、または毎月のお手紙で近況報告をし、必要時には連絡を取り合うことで良い関係を築くことができた

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	2	5	1	1	9
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?		6	2	1	9
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?		4	3	2	9
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?		1	4	4	9

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
 通所の利用者様のご家族には「何をどのようにしてどんな反応があったか」等を連絡帳に記入し、それに対してのお返事やお会いできるご家族と情報を共有するようにしている。入居者様はご家族の要望や情報などをケアマネや管理者、スタッフから聞き取りそれに応えるようにしている

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
 利用者様とご家族・介護者との関係が切れないように支援しているが、民生委員や地域の資源は把握しておらず地域との関係を結ぶことはできていない

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
 利用者様の地域での暮らしを支援していきけるように、ご家族と良い関係を築き、これまでの生活スタイルや人間関係等を把握する。必要があれば地域の資源等の活用を検討する。コロナ対策を継続しながらご家族と連絡を取り合い、良い関係が途切れないように支援する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年11月28日(18:00~19:00)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 佐々木・斉藤・伊藤・宮下・高橋
上原・佐藤・大殿・渡辺

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	2	5			7

前回の改善計画	コロナ対策を行いながら利用者様の日常生活に気を配り、地域密着型として「通い」「訪問」「宿泊」など柔軟な支援を継続する。
前回の改善計画に対する取組み結果	柔軟な支援を行なうことができた。「訪問」が必要な利用者様の家に週1回訪問介護を行い、家庭での問題を解決できた。通所を拒否する利用者様が「訪問」を通して交流を深め通所できるようになった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	1	3	4		8
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	5	3			8
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	4	4			8
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	5	3			8

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 一日の流れでの利用者様の言動や行動の変化を職員間で情報交換や情報収集しケアマネや管理者に報告して共有し、柔軟な支援ができています。
--------	---

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること コロナ感染者がまだまだ多く、地域資源の活用までは考えられない。一人暮らしの利用者様には「訪問」が必要であるが人員の問題があり実際にはなかなか提供できていない。音楽療法は再開されたが保育園児との交流はコロナ感染の不安があり再開されていない
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 地域密着型として「通い」「訪問」「宿泊」のサービスの提供が必要であることを理解し、利用者様には必要なサービスを適切に提供していく。特に一人暮らしの利用者様には訪問サービスが必要なことが多く、これからの必要な方に提供できるような体制を作る
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年11月28日 (18:00~19:00)

6. 連携・協働

メンバー 佐々木・斉藤・伊藤・宮下・高橋
上原・佐藤・大殿・渡辺

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2	4	1		7

前回の改善計画	コロナ禍であっても感染対策を徹底しながら、ご家族や医療機関等、必要なサービスや交流を検討して実施する。
前回の改善計画に対する取組み結果	コロナ禍であってもサービス担当者会議が実施され、訪問看護・訪問リハビリ・福祉用具等必要なサービスが提供された。感染対策を徹底しながら以前よりもご家族が頻回に面会できるようになっている

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等他事業所）との会議を行っていますか？	3	2	2	1	8
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？			2	6	8
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？			3	5	8
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？		1	2	5	8

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること ご家族や医療機関、その他のサービス機関とのサービス担当者会議などが実施されている。ボランティアの方が来所され、利用者様のお話し相手や将棋の相手等をしてきている
--------	---

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること まだまだコロナ禍であり地域の行事やイベントには参加できていない。保育園児たちとの交流も中断している
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 感染対策を行いながら、ご家族や医療機関、他事業者とのサービス担当者会議に出席する。また地域のボランティアさんを受け入れ、利用者様に適切に関わりを持っていただく
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年11月28日 (18:00~19:00)

7. 運営

メンバー 佐々木・斉藤・伊藤・宮下・高橋
上原・佐藤・大殿・渡辺

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
	前回の課題について取り組みましたか?	1	5	1		7

前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み結果
コロナ禍であっても、地域との間接的な交流を検討する。利用者、ご家族、介護者から意見や苦情を運営に反映できるように働きかける。	利用者様やご家族の意見を聞き、運営に反映できるように管理者会議等で伝えている。利用者様の言葉（例えば「いつも決まった人だけ横になって休めているがなぜ自分たちは休めないのか」等）に耳を傾け対応している

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	1	4	4		9
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	7	1		9
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	4	2	1	8
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?		1	4	3	8

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	利用者様やご家族からの苦情は皆で共有し、徹底して改善している。理念にある「尊厳、穏やかに、楽しく」を一番に心がけ、利用者様にとってよりよい環境にするために身近なことから意見を言うことができている

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	まだまだコロナ禍であり地域との協働した取組みを行うことができていない

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	利用者様やご家族の意見や苦情に耳を傾け、改善する。また散歩の際は近所の方々に笑顔で挨拶し、小さな苦情にも早急に対応する。 。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年11月28日 (18:00~19:00)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 佐々木・斉藤・伊藤・宮下・高橋
上原・佐藤・大殿・渡辺

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
前回の課題について取り組みましたか?		2	5			7

前回の改善計画	月1回の職場内の会議や勉強会を充実させて、リスクマネジメントについて理解を深める。ヒヤリハットや事故報告の検証は責任者を決めてしっかり行い後日結果を報告するなどして再発防止に努める
前回の改善計画に対する取組み結果	勉強会は委員会ができ充実した内容になっている。会議では情報収集やディスカッションにより深い学びがある。ヒヤリハットや事故報告の検証は行っているが同じ利用者様に同じような事故が続くなどまだまだ不十分である。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	4	4	1		9
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	1	4	1	2	8
③	地域連絡会に参加していますか				8	8
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	2	5		1	8

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
ユニット会議では日頃気づけなかった職員の考えや思いを知ることができ共有できている。勉強会では体験を交えた発表を聞き、現場で生かすことができた。リスクマネジメントについては危ない箇所、危ない場所や行動について常に気を配るようにしている。感染予防や認知症について等ユーチューブを使って学習している	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
ヒヤリハットや事故の再発防止策が変更になっているのに気づかず知らないことがある。他の職員との共有ができていない面がある。研修会や地域連絡会にはまだまだコロナ感染者が多いため参加できていない	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
ユニット会議でヒヤリハットや事故報告の検証を継続して行い、再発を予防する。職員が感じた些細な意見や苦情に耳を傾け、改善を図る。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年11月28日 (18:00~19:00)

9. 人権・プライバシー

メンバー 佐々木・斉藤・伊藤・宮下・高橋
上原・佐藤・大殿・渡辺

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	4	4			8

前回の改善計画	職場内勉強会で身体拘束や不適切ケアについて学習する。利用者様の安全の為に必要と思われる必要最低限の身体拘束を行うが、定期的な見直しを継続して行う。
前回の改善計画に対する取組み結果	利用者様の安全のために必要最低限の身体拘束を行うが見直しを常に検討している。勉強会や会議で学習し、不適切ケアをしないように気をつけながら介護をしている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	2	6	1		9
②	虐待は行われていない	8	1			9
③	プライバシーが守られている	6	3			9
④	必要な方に成年後見制度を活用している	2	2	1	1	6
⑤	適正な個人情報の管理ができている	7	1			8

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 虐待防止や身体拘束適正化のための委員会を設け、不適切なケアや不必要な身体拘束を行わないよう話し合い決まったことを情報提供している
--------	--

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 難聴の方や認知症の方の中には排泄についてストレートに伝えないと理解されないことも多い。プライバシーに配慮する点からいうと守られているとはいえな
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) ・職場内の勉強会で身体拘束や不適切ケアについて学習する。また委員会を中心に身体拘束の定期的な見直しを行い、日頃行っている介護が虐待や不適切ケアになっていないか話し合い、職員が個々に自覚しながら介護が提供できるような環境を作る。たとえば利用者様への言葉かけが不適切と思われた時、職員同士で声を掛け合えるような雰囲気作りをしていく
---------------	---

外部評価 地域かかわりシート①

○外部評価（地域かかわりシート①）は、A～Fまでの6項目となります

○項目Aについては「事業所自己評価」をお読みいただき、適当と思われる箇所に☑を記入ください。

○B～Fの項目については、下記チェック項目の適当と思われる箇所に☑を記入してください。

○地域かかわりシートへの皆様のご意見は、事業所の質の向上につながり、皆様の地域にとって必要な拠点となるために大変重要です。事業所を育て、認知症になっても、介護が必要となっても、安心して暮らし続けることができる町をともにつくるために、ご理解、ご協力をお願いします。

A. 事業所自己評価の確認（該当部分に✓を入れてください）

No.	項目	はい	いいえ	わからない
1	少なくとも常勤スタッフ全員で事業所自己評価に取り組んでいることが確認できましたか？ ※常勤とは週 32 時間以上勤務の職員（正規・嘱託・臨時職の別ではない）	3		
2	事業所自己評価を作成する際、事業所の常勤スタッフ全員の意見が反映されて実施していることが確認できましたか？ ※ただし、ミーティングの場面では常勤職員の 2/3 以上の参加が望ましい	2		1
3	前回の改善計画に対して、具体的な取組みが行われていましたか？	2		1
4	今回の改善の必要な点が明らかになり、その改善計画が具体的に立てられていますか？	3		

B. 事業所のしつらえ・環境（該当部分に✓を入れてください）

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取り組んでいましたか？ 【前回の改善計画】 今回も月 1 回の感染対策委員会で感染状況を把握し、状況に合った感染対策を継続してクラスターの発生を防いでいく	3		
1	家族や地域の方が、事業所に入りやすい工夫がなされていますか？	1		2
2	事業所は、居心地がいい空間になっていますか？			3
3	事業所内・外に、不快な音や臭い等はないですか？	2		1
4	日中、事業所の門や玄関にカギはかかっていますか？	2		1

C. 事業所と地域のかかわり（該当部分に✓を入れてください）

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？ 【前回の改善計画】 今後も施設が地域に受け入れられ、高齢者の受け皿となれるよう地域の方々と笑顔で挨拶する取り組みを継続する	2		1
1	職員はあいさつできていますか？	2		1
2	事業所は、地域の方に知られていますか？	1		2
3	何か困りごとや相談ごとがあった場合に、事業所は相談しやすい場所になっていますか？	1		2
4	事業所のスタッフは、地域の行事やイベントに参加していますか？		1	2

D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み（該当部分に✓を入れてください）

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？ 【前回の改善計画】 コロナ禍のため、今後も地域の人々との交流は難しいことが予想されるが、散歩中に出会った地域の方と笑顔で挨拶することを継続する	2		1
1	利用者を事業所の中だけに閉じ込めていませんか？	1		2
2	利用者本人が住んでいる地域の方を交えた会議が行われていますか？			3
3	事業所の利用者は、地域の行事やイベントに参加していますか？		1	2
4	利用者以外のご近所の心配な方に、事業所はかかわっていますか？			3

E. 運営推進会議を活かした取組み（該当部分に✓を入れてください）

項目	はい	いいえ	わからない
前回の改善計画について取組んでいましたか？	2		1
【前回の改善計画】 運営推進会議では情報を共有し、できる範囲で地域の課題に取り組む			
運営推進会議では、事業所の取組みが解かりやすく説明されていますか？	1		2
運営推進会議では、地域の心配の方等の事例検討が行われていますか？			3
運営推進会議では、地域での取組みを一緒に取組もうとしていますか？		1	2
運営推進会議で出した意見を、改善につなげていますか？	2		1

F. 事業所の防災・災害対策（該当部分に✓を入れてください）

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	1		2
	【前回の改善計画】 年1回、防災・災害について勉強会で学び、月1回避難訓練を継続する。災害時に職員が適切に対応できるようにシュミレーションして訓練を継続していく。定期的に防災グッズや連絡手順、持ち出し書類等を再検討する。			
1	事業所の防災計画（火災・風水害・地震等）を知っていますか？		3	
2	事業所は、地域の防災訓練に参加・参画していますか？		1	2
3	事業所の防災訓練に参加したことがありますか？		3	
4	災害時、事業所は頼りになりそうですか？	2		1

以上で終了です。ありがとうございました。

A. 事業所自己評価の確認

No.	項目	はい	いいえ	わからない
1	少なくとも常勤のスタッフが全員で事業所自己評価に取り組んでいることが確認できましたか？	3		
2	事業所自己評価を作成する際、事業所の常勤スタッフ全員の意見が反映されていることが確認できましたか？ ※ただし、ミーティングの場面では常勤職員の 2/3 以上の参加が望ましい	2		1
3	前回の改善計画に対して、スタッフ全員で具体的な取組みが行われていましたか？	2		1
4	今回の改善の必要な点が明らかになり、その改善計画が具体的に立てられていますか？	3		

【上記4つのチェック項目に関する意見】

※結果ではなく、事業所自己評価に取り組んだ経過（姿勢）に対する意見
個人の主観だけでなくミーティングの中で客観的な評価につなげていくことがわかりました。ただ、中身の詳細についてはわからないので2.3は「わからない」に印をつけました
職員の皆さんひとりひとりが各課題に対して一生懸命取り組んでいる姿勢がみえました。

【前回の改善計画に対して意見】

※前回の改善計画に対しての取組み結果に対する意見
利用者個人に重きを置いて取り組んでおられることがよくわかります。そして職員の皆様
それを共有し、できなかった点も明らかにされていること等とても大切なことだと思います。

【今回の9つのテーマごとに記入された改善計画に対する意見】

※今回の改善計画が具体的かつ達成可能な計画になっているかについての意見
1.2.3は具体的で家族としても教えられました。今地域とも関わっていくのは地縁も薄くなっている上にコロナ禍もありとても大変なことだと思います。でも事業所を含めた地域としてできる範囲で継続して行ってほしいです。9はとてもありがたいです。どうしてもそうせざるをえないこともあります。でも常に見直す姿勢のあることは希望につながります

【「自己評価」をテーマにした自由意見】

今回プリントを読んで皆様がしっかり仕事に向かっていることがわかりました。しかもそれを個人の仕事で終わらせず全員で評価し仕事につなげ課題を共有していくことを知ってプロフェッショナルの厳しさを垣間見た思いです。そんな中でもほっとするのは職員の皆様のつながりがみえることです。厳しい仕事の中にあってもにこやかに言葉を交わし助け合っている姿に心が和みます。これなら利用者にも暖かく接していただくのだと思われ
るのです。

【改善計画】※後日記入

B. 事業所のしつらえ・環境

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	3		
1	家族や地域の方が、事業所に入りやすい工夫がなされていますか？	1		2
2	事業所は、居心地がいい空間になっていますか？			3
3	事業所内・外に、不快な音や臭い等はないですか？	2		1
4	日中、事業所の門や玄関にカギはかかっていますか？	2		1

【上記5つのチェック項目に関する意見】

コロナ禍で内部には入りませんが面会に行くと気持ちよく迎え入れて下さることがわかります。その面会時のことですが、職員さんの明るい声や笑い声が奥から聞こえてホッとします。それに通りがかったどなたも大きな声で丁寧に挨拶して下さいます。これは上欄の1.2にもつながることだと思うのですが、内部に入ることあまりないので「わからない」にチェックしました。

母が入所したのはコロナ禍になってからのため面会の場面でしか事業所の様子はわかりませんが嫌な印象に思ったことは全くありません

【前回の改善計画】

※今後も月1回の感染対策委員会で感染状況を把握し、状況に合った感染対策を継続してクラスターの発生を防いでいく

感染対策については面会時の印象ですが、しっかり取り組み計画を進めているように感じます。こればかりはどんなに対策をしてもわからないので感染しないように願うばかりです

【「事業所のしつらえ・環境」をテーマにした自由意見】

玄関などは広いとはいえない中、きちんと整頓され、いつも清潔そうで感じが良いと思います。

【今回の改善計画】※後日記入

C.事業者と地域のかかわり

	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	2		1
1	職員はあいさつできていますか？	2		1
2	事業所は、地域の方に知られていますか？	1		2
3	何か困りごとや相談ごとがあった場合に、事業所は相談しやすい場所になっていますか？	1		2
4	事業所のスタッフは、地域の行事やイベントに参加していますか？		1	2

【上記5つのチェック項目に関する意見】

職員の皆さん、いつも笑顔で接してくださっています。
好印象です。コロナ禍の前はいろいろな行事があって地域の方や家族との交流の機会も多かったと聞きました。またそういう時間もどってほしいと願います。

【前回の改善計画】

※ 今後も施設が地域に受け入れられ、高齢者の受け皿となれるよう地域の方々と笑顔で挨拶する取り組みを継続する

【「事業所と地域のかかわり」をテーマにした自由意見】

【改善計画】 ※後日記入

D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	2		1
1	利用者を事業所の中だけに閉じ込めていませんか？	1		2
2	利用者本人が住んでいる地域の方を交えた会議が行われていますか？			3
3	事業所の利用者は、地域の行事やイベントに参加していますか？		1	2
4	利用者以外のご近所の心配な方に、事業所はかかわっていますか？			3

<p>【上記5つのチェック項目に関する意見】</p>
<p>【前回の改善計画】</p> <p>※ コロナ禍のため今後も地域の人々との交流は難しいことが予想されるが、散歩中に出会った地域の方々には笑顔で挨拶することを確認する</p>
<p>【「地域に出向いて本人の暮らしを支えている」をテーマにした自由意見】</p>
<p>【改善計画】 ※後日記入</p>

E. 運営推進会議を活かした取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	2		1
1	運営推進会議では、事業所の取組みが解かりやすく説明されていますか？	1		2
2	運営推進会議では、地域の心配の方等の事例検討が行われていますか？			3
3	運営推進会議では、地域での取組みを一緒に取組もうとしていますか？		1	2
4	運営推進会議で出た意見を、改善につなげていますか？	2		1

【上記5つのチェック項目に関する意見】

【前回の改善計画】

※ 運営推進会議では情報を共有し、できる範囲で地域の課題に取り組む

【「運営推進会議を活かした取組み」をテーマにした自由意見】

【改善計画】※後日記入

F. 事業所の防災・災害対策

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	1		2
1	事業所の防災計画（火災・風水害・地震等）を知っていますか？		3	
2	事業所は、地域の防災訓練に参加・参画していますか？		1	2
3	事業所の防災訓練に参加したことがありますか？		3	
4	災害時、事業所は頼りになりそうですか？	2		1

【上記5つのチェック項目に関する意見】

事業所の防災訓練に参加したことがないので具体的な意見はありませんが、最近のどこにも起こり得る可能性がある災害の多さに、家族と離れて暮らすことに不安を感じます

【前回の改善計画】

※ 年1回、防災・災害について勉強会で学び、月1回避難訓練を継続する。災害時に職員が適切に対応できるようにシュミレーションして訓練を継続していく。定期的に防災グッズや連絡手順、持ち出し書類などを再検討する

【「事業所の防災・災害対策」をテーマにした自由意見】

【改善計画】※後日記入

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表 令和5年

法人名	(有)丸心	代表者	河田 多江子	法人・事業所の特徴	利用者様一人一人の人格を尊重し住み慣れた地域での生活を継続する事が出来る様、地域住民との交流や地域生活への参加を図りつつ利用者様の心身の状況・希望及びその置かれている環境を踏まえ通いサービス、訪問サービス及び宿泊サービスを柔軟に組み合わせることにより地域での暮らしを支援します。
事業所名	小規模多機能型居宅介護 丸心ふわり	管理者	佐々木和子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	人	人	人	2人	1人	人	9人	人	人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果 (事業所内の評価)	意見 (外部関係者)	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<p>1. 初期支援 (はじめのかかわり) 新規利用者様には一日も早く馴染んでいただけるように笑顔で対応し声かけや困りごとの調整を行う。基本情報の確認を行い、違っている点や改善点を見つけてより良い介護が提供できるよう管理日誌や連絡ノートを活用しスタッフ間で共有する。</p> <p>2. 「～したい」の実現 一人ひとりの利用者様に寄り添い、「～したい」の気持ちを引き出して介護計画を作成し、目標を目指した日々の関わりができる。利用者様の「～したい」をわかりやすく一覧表にして職員が把握しやすくする。</p> <p>3. 日常生活の支援 利用者様の心身の状態や変化の他、ご家族の体調や家庭環境の変化等も把握して早めに対策を考</p>	<p>1. 初期支援 (はじめのかかわり) 新規利用者様には笑顔で明るく接するように心がけ、利用者様が意思表示をしやすい環境になっている。基本情報を確認し、ミーティングでは情報交換を行い問題点を見つけて対策を立て実行することができた。ただ管理日誌や連絡ノートを活用しているが情報共有ができていないこともあった。</p> <p>2. 「～したい」の実現 介護計画をもとに日々の関わりをしているが、利用者様ひとりひとりの「～したい」をなかなか引き出すことができなかった</p> <p>3. 日常生活の支援 利用者様の心身の状態や変化等を朝のミーティングや管理日誌、連絡ノート等で把握して、早めに</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・個人の主観だけでなくミーティングの中で客観的な評価につなげていくことがわかりました ・利用者個人に重きを置いて取り組んでおられることがよくわかります。そして職員の皆様がそれを共有し、できなかった点も明らかにされています。とても大切なことだと思います ・1.2.3は具体的で家族としても教えられました。今地域と関わっていくのは地縁も薄くなっている上にコロナ禍もあり、とても大変なことと思います。でも事業所を含めた地域としてできる範囲で継続して行ってほしいです。 ・9はとても有難いです。どうしてもそうせざるを得ないこともあります。でも常に見直す姿勢のあることは希望につながります。 	<p>1. 初期支援 (はじめのかかわり) 新規利用者様には一日も早く馴染んでいただけるよう笑顔で対応。声かけや困りごとの調整を行うとともに認知面での問題行動や夜間の対応等、早期に安全で統一した対応ができるように対策を立てて、箇条書きにして全員で共有する</p> <p>2. 「～したい」の実現 ひとりひとりの利用者様に寄り添い、担当の職員がそれぞれ中心になって「～したい」の気持ちを引き出してミーティングで再確認し、本人の目標「～したい」を目指した日々の関わりができるよう、一覧表にして職員間で共有する</p> <p>3. 日常生活の支援 利用者様やご家族の心身の状態や環境の変化など、連絡ノートやケアマネ、送迎スタッフ等から情</p>

<p>えてミーティングや連絡ノートを利用して情報を共有し、適切な生活支援が継続して行える</p> <p>4.地域での暮らしの支援 コロナ禍であってもご家族と連絡を取り合い、良い関係が継続できるように支援する。必要があれば地域の資源などの活用も検討する。</p> <p>5.多機能性ある柔軟な支援 コロナ対策を行いながら利用者様の日常生活に気を配り、地域密着型として「通い」「訪問」「宿泊」など柔軟な支援を継続する。</p> <p>6.連携・協働 コロナ禍であっても感染対策を徹底しながらご家族や医療機関などと必要なサービスや交流を検討し実施を継続する。</p> <p>7.運営 コロナ禍であっても地域との間</p>	<p>対策を考えることができた。また送迎の際、利用者様やご家族の様子を把握し、問題となることへの対策をたてて情報を交換し共有している</p> <p>4.地域での暮らしの支援 ご家族とは送迎時にお話しさせていただいたり、または毎月のお手紙で近況報告をし、必要時には連絡を取り合うことで良い関係を築くことができた</p> <p>5.多機能性ある柔軟な支援 柔軟な支援を行うことができた。「訪問」が必要な利用者様の家に週 1～2 回訪問介護を行い、家庭での問題を解決できた。通所を拒否する利用者様が「訪問」を通して交流を深め通所できるようになった</p> <p>6.連携・協働 コロナ禍であってもサービス担当者会議が実施され、訪問看護・訪問リハビリ・福祉用具レンタル等必要なサービスが提供された。感染対策を徹底しながら以前よりもご家族が頻回に面会できるようになっている</p> <p>運営 利用者様やご家族の意見を聞き、</p>	<p>・今回のプリントを読んで皆様がしっかり仕事に向かっていることがわかりました。しかもそれを個人の仕事で終わらせず、全員で評価し改善につなげ課題を共有していくことを知ってプロフェッショナルの厳しさを垣間見た思いです。そんな中でもホッとするのは職員の皆様のつながりがみえることです。厳しい仕事の中にあってもにこやかに言葉をかわし、助け合っている姿に心が和みます。これなら利用者にもあたたかく接していただくのだと思えるのです。</p> <p>・職員の皆さん一人ひとりが各課題に対して一生懸命取り組んでいる姿勢が見えました。</p>	<p>報を得てカンファレンスで共有し、早期に適切な生活支援を継続して行う</p> <p>4.地域での暮らしの支援 利用者様の地域での暮らしを支援していけるように、ご家族と良い関係を築き、これまでの生活スタイルや人間関係等を把握する。必要があれば地域の資源等の活用を検討する。コロナ対策を継続しながらご家族と連絡を取り合い、良い関係が途切れないように支援する</p> <p>5.多機能性ある柔軟な支援 地域密着型として「通い」「訪問」「宿泊」のサービスの提供が必要であることを理解し、利用者様には必要なサービスを適切に提供していく。特に一人暮らしの利用者様には訪問サービスが必要なことが多く、これからも必要な方に提供できるような体制を作る</p> <p>6.連携・協働 感染対策を行いながら、ご家族や医療機関、他事業者とのサービス担当者会議に出席する。また地域のボランティアさんを受け入れ、利用者様に適切に関わりを持っていただく</p> <p>7.運営 利用者様やご家族の意見や苦情</p>
---	---	--	--

	<p>接的な交流を検討する。利用者様、ご家族様、介護者から意見や苦情を運営に反映できるように働きかける。</p> <p>8.質を向上させるための取組み 月1回の職場内の会議や勉強会を充実させてリスクマネジメントについての理解を深める。ヒヤリハットや事故報告の検証は責任者を決めてしっかり行い、後日結果を報告する等して再発防止に努める。</p> <p>9.人権・プライバシー 職場内勉強会で身体拘束や不適切ケアについて学習する。利用者様の安全のために必要と思われる必要最低限の身体拘束を行うが、定期的な見直しを継続して行う</p>	<p>運営に反映できるように管理者会議等で伝えている。利用者様の言葉（例えば「いつも決まった人だけ横になって休めているのになぜ自分たちは休めないのか」等）に耳を傾け対応している</p> <p>8.質を向上させるための取組み 勉強会は委員会ができ充実した内容になっている。会議では情報収集やディスカッションにより深い学びがある。ヒヤリハットや事故報告後の検証や行っているが、同じ利用者様に同じような事故が続くなどまだまだ不十分である</p> <p>9.人権・プライバシー 利用者様の安全のために必要最低限の身体拘束を行うが見直しを常に検討している。勉強会や会議で学習し、不適切ケアをしないように気をつけながら介護をしている</p>		<p>に耳を傾け改善する。また散歩の際は近所の方々に笑顔で挨拶し、小さな苦情にも早急に対応する</p> <p>8.質を向上させるための取組み ユニット会議でヒヤリハットや事故報告の検証を継続して行い、再発を予防する。職員が感じた些細な意見や苦情に耳を傾け、改善を図る</p> <p>9 人権・プライバシー 職場内の勉強会で身体拘束や不適切ケアについて学習する。また委員会を中心に身体拘束の定期的な見直しを行い、日頃行っている介護が虐待や不適切ケアになっていないか話し合い、職員が個々に自覚しながら介護が提供できるような環境を作る。たとえば利用者様への言葉かけが不適切と思われた時、職員同士で声を掛け合えるような雰囲気作りをしていく</p>
<p>B. 事業所の しつらえ・環境</p>	<p>今後も月1回の感染対策委員会で感染状況を把握し、状況にあった感染対策を継続して、クラスターの発生を防いで行く。</p>	<p>感染対策委員会を毎月1回開催して感染状況を把握し、感染マニュアルを作成して感染が起こった場合の備品を準備した。またコロナワクチン接種を職員や利用者様に勧めた。令和5年は丸心ふわりでは濃厚接触者ではで</p>	<p>・コロナ禍で内部には入りませんが、面会に行くと職員さんの明るい声や笑い声が奥から聞こえてホッとします。それに通りかかったどなたもが大きな声で丁寧に挨拶してくださいませ。これは上覧の1.2にもつな</p>	<p>今までのように毎月1回感染対策委員会を開催して感染状況を把握して、施設内でコロナ感染、クラスターの発生があったとしても、適切に対応でき、被害が最小で済むように職員の感染対策が継続して実施できるよう働きか</p>

		<p>たが、施設内でコロナ感染症の発症はなかった。</p>	<p>がることだとは思いますが内部に入ることはいないので「わからない」にチェックしました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染対策については面会時の印象ですが、しっかり取り組み計画を進めているように思います。こればかりはどんなに対策をしてもわからないので感染しないように願うばかりです。 ・玄関などは広いとはいえませんが、きちんと整頓され、いつも清潔そうで感じが良いと思います。 ・母が入所したのはコロナ禍になってからのため面会の場面では事業所の様子はわかりませんが嫌な思いを持ったことは全くありません 	<p>けを継続する</p>
<p>C. 事業所と地域のかかわり</p>	<p>今後も施設が地域に受け入れられ、高齢者の受け皿となれるよう、地域の方々と笑顔で挨拶する取り組みを継続する</p>	<p>通勤途中や利用者様との散歩の時に近所の方々にこちらから声かけして挨拶している。「丸心ふわり」が高齢者施設で、毎日散歩に出て笑顔をみせてくれる施設であることを認識していただけていると思う</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の皆さんいつも笑顔で接してくださっています。好印象です。コロナ禍の前はいろいろな行事があって地域の方や家族との交流の機会も多かったと聞きました。またそういう時間が戻ってほしいと願っています 	<p>今までのように施設が地域に受け入れられ、高齢者の受け皿となれるよう地域の方々と笑顔で挨拶する取り組みを継続する。</p>
<p>D 地域に出向いて本人の暮らしを支える取り組み</p>	<p>コロナ禍の為、今後も地域の人々との交流は難しい事が予測されが、散歩中に出会った地域の方と笑顔で挨拶する事を継続する。</p>	<p>コロナ禍であり地域のお祭りやイベントに参加することはできなかったが、散歩中に会った近所の方々に笑顔で挨拶した</p>		<p>今後も感染予防のため、地域の行事やイベントの参加は難しいことが予測されるが、散歩中に会った地域の方々に笑顔で挨拶する</p>

E. 運営推進会議を活かした取組み	運営推進会議では、情報を共有し、できる範囲で地域の課題に取り組む。	家族会で花壇の後片付け終了後に、施設の情報を提供して意見をいただいた。また参加できなかった方には書面で情報提供している		運営推進会議を実施して施設の情報を共有し、地域の課題にも取り組む
F. 事業所の防災・災害対策	年1回、防災・災害について勉強会で学び、月1回避難訓練を継続する。災害時に職員が適切に対応できるようにシュレージョンして訓練を継続して行く。定期的に防災グッズや連絡手順、持ち出し書類等を再検討する	月1回の避難訓練が継続して実施され、年1回の防災についての勉強会が予定どおり実施された。防災用品の点検や確認が行われた	・事業所の防災訓練に参加したことがないので具体的な意見はありませんが、最近のどこにでも起こり得る可能性がある災害の多さに家族と離れて暮らすことに不安を感じます	1年に1回、防災・災害について勉強会で学び、月1回避難訓練を実施する。定期的に防災用品や持ち出し書類の整備等を継続して行う

